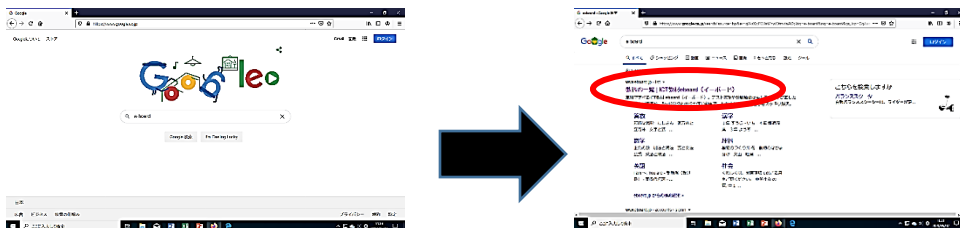


社会科 課題のやり方

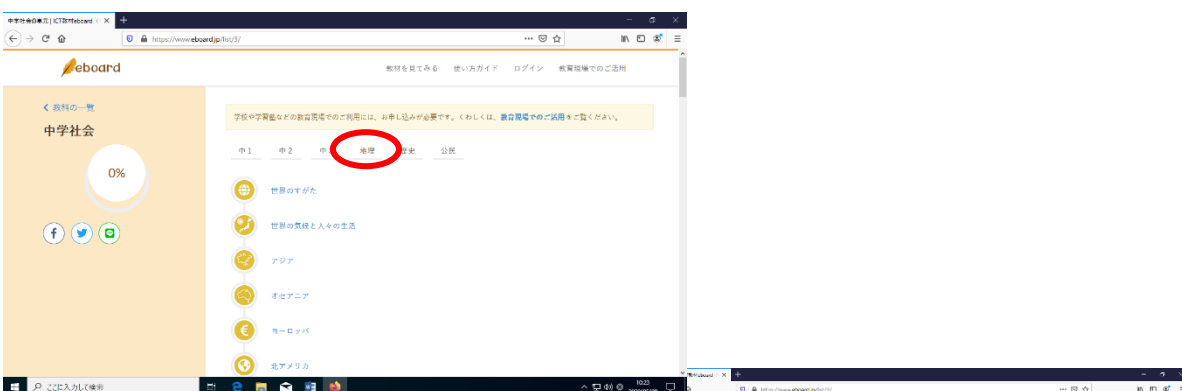
1. 検索サイト(Google・Yahoo!!など)で、「e-board」<https://www.eboard.jp/list/3/>と検索する。



2. 「e-board」のページに入ったら、中学生の欄の「社会」をクリック。



3. このページに入ったら、「地理」のところをクリックし、画面下に移動し「世界のすがた」をクリックする。



4. このようなページに入ったら、教科書のリンクするページを開き、動画を再生。



動画内で書き込まれた赤字やラインを引いたところを教科書の文章中から探し、教科書にラインやマーカーを入れる。動画が終了したら、「次へ」をクリックする。

※動画内には教科書にはない言葉もありますが、参考として確認しておいてください。

海と大地～三大洋と六大陸～



動画のきりかえ

見ました!

次へ

ためてみよう

- ① 地図帳などを使って、上の地図中の(A)から(C)に入る大陸名と、(A)から(C)に入る海洋名を調べましょう。
- ② 地球儀を見て、三大洋の大きさを比べましょう。
- ③ 地球儀を見て、六大陸を、次の三つに分類しましょう。
 (ア) 赤道より北(北半球)にある大陸
 (イ) 赤道より南(南半球)にある大陸
 (ウ) 北半球と南半球の両方にまたがる大陸
- ④ 地球儀を北極の上から見たときに見える大陸の中で、北極をはざんで向かい合って見えるのは、どの大陸とどの大陸が調べましょう。

六大陸と三大洋

6ページの1と2の写真から分かるように、地球上の海洋と陸地の分布にはかたよりがあります。また、5のグラフから分かるように、地球の表面のおよそ7割が海洋で、陸地は3割にすぎません。そのため、地球は「水の惑星」と呼ばれています。

海洋は太平洋、大西洋、インド洋の三大洋と、日本海や地中海などの三大洋に付属した小さな海に分けられます。なかでも太平洋は、全ての陸地を合わせた面積よりも広い海洋です。

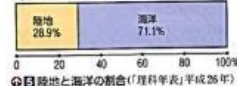
陸地には、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六大陸と、多くの島々があります。

6ページの1と2の写真から分かることを、次の三つの語句を使って説明しましょう。【陸地/海洋/面積】



国連旗 北極を中心にした地図がえがかれています。

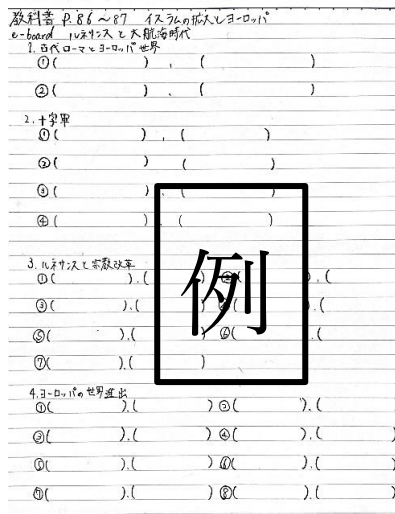
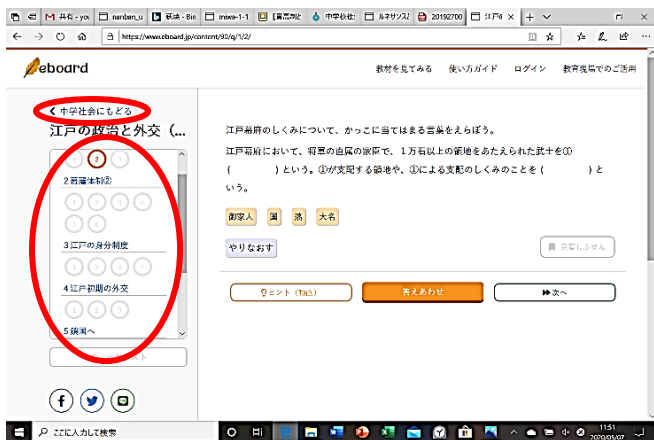
地球の総面積 5億1000万km²



陸地と海洋の割合(理科年表)平成26年

太平洋は、ヨーロッパ人で初めてこの海を横断したマゼランが、暴風雨に見まわれなかったことから、「おだやか(太平)な海」と名付けたことに由来するといわれ、日本語でもそのまま訳されました。ユーラシア(Eurasia)は、ヨーロッパ(Europe)とアジア(Asia)を合わせた大陸の名称です。また、アメリカ大陸は、ヨーロッパで知られていない大陸であることを最初に確かめた、アメリカ・ベスプッチの名前にちなんで名付けられました。

5. 次にこのような画面になったら、文章を読み、各問いの答えをノートに書き、画面上で選択肢し、「答えあわせ」をクリックして確認後「次へ」をクリックする。
 動画→各問いを繰り返し、画面左側がすべてにチェックがついたら、「中学社会にもどる」をクリックして次の単元に進む。



7.教科書対応表を確認して、対応するワークのページを答える。
 例:教科書 p6,7⇒ワーク p2,3



以上のやり方は、パソコンの画面を参考にしているため、スマートフォンで見る場合は、少し画面のレイアウトが変わると思いますが、基本的なところは変わらないので、これを参考に課題を進めてください。

※1週間に動画3つ分の学習を進めてください。

(中学1年生の社会は週に3回あるので)

※提出日は学校再開後に伝えます。